

# 2014年12月期 第2四半期 決算説明会

2014年8月8日  
JUKI株式会社  
代表取締役社長 清原 晃

*Mind & Technology*

**JUKI**  
*Mind & Technology*

# 目次

## 第1部 2014年12月期(2014年度)上期 業績の概要

- |               |    |
|---------------|----|
| 1. 業績推移・配当    | 3  |
| 2. 経常利益増減要因   | 5  |
| 3. 主要財務項目推移   | 6  |
| 4. キャッシュ・フロー  | 7  |
| 5. セグメント別業績推移 | 8  |
| 6. 財務体質の強化    | 12 |

## 第2部 2014年度の通期業績予想と下期の重点施策

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 通期業績予想・環境認識・事業戦略 | 15 |
| 2. 重点施策             | 18 |

**第1部**  
**2014年12月期(2014年度)上期**  
**業績の概要**

アジアの新興国市場では縫製機器事業が前年に引き続き堅調であったことに加え、円安基調で推移したことなどにより、前年同期比8%増収

前年より実施しているグループ全体の構造改革の効果もあり、営業・経常・当期純利益とも大幅増益

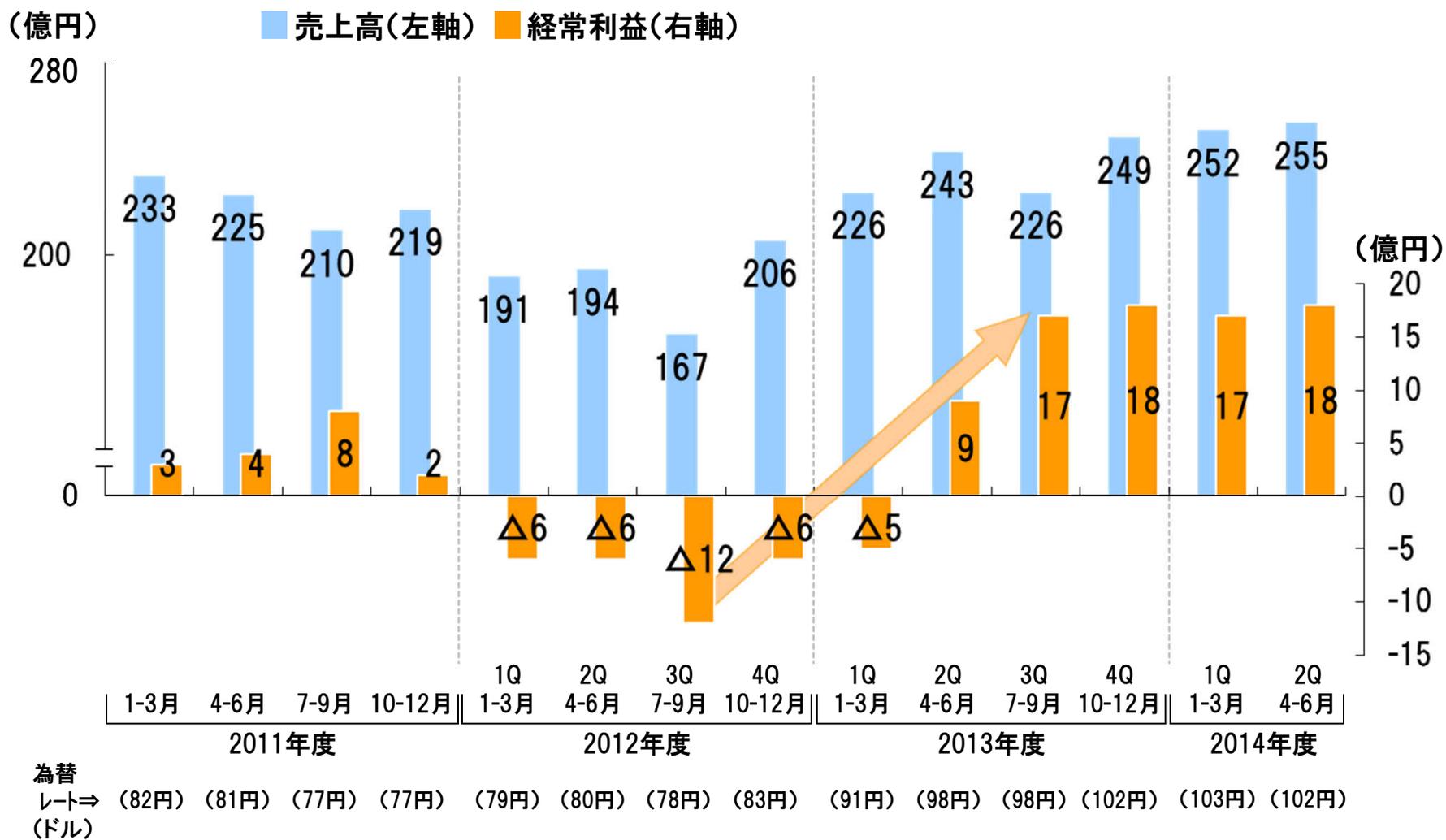
(百万円)

	13/12期 (13年度)						14/12期 (14年度)			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			下期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期<B>	
	13年1-3月	13年4-6月	13年1-6月	13年7-9月	13年10-12月	13年7-12月	14年1-3月	14年4-6月	14年1-6月	
売上高	22,624	24,298	46,922	22,602	24,861	47,463	25,201	25,533	50,734	3,812 (8.1%)
営業利益	255 [1.1%]	1,247 [5.1%]	1,503 [3.2%]	1,841 [8.1%]	1,808 [7.3%]	3,648 [7.7%]	1,867 [7.4%]	1,814 [7.1%]	3,681 [7.3%]	2,178 (145%)
経常利益	△531 [△2.3%]	902 [3.7%]	370 [0.8%]	1,718 [7.6%]	1,789 [7.2%]	3,508 [7.4%]	1,734 [6.9%]	1,775 [7.0%]	3,509 [6.9%]	3,139 (848%)
当期純利益	*△2,128 [△9.4%]	758 [3.1%]	△1,369 [△2.9%]	1,516 [6.7%]	2,860 [11.5%]	4,375 [9.2%]	1,113 [4.4%]	1,455 [5.7%]	2,568 [5.1%]	3,937
配当	—	—	0円/株	—	—	0円/株	—	—	0円/株	—
為替 レート	ドル 91円 ユーロ 120円	98円 127円	95円 124円	98円 130円	102円 140円	100円 135円	103円 141円	102円 140円	103円 141円	8円 17円

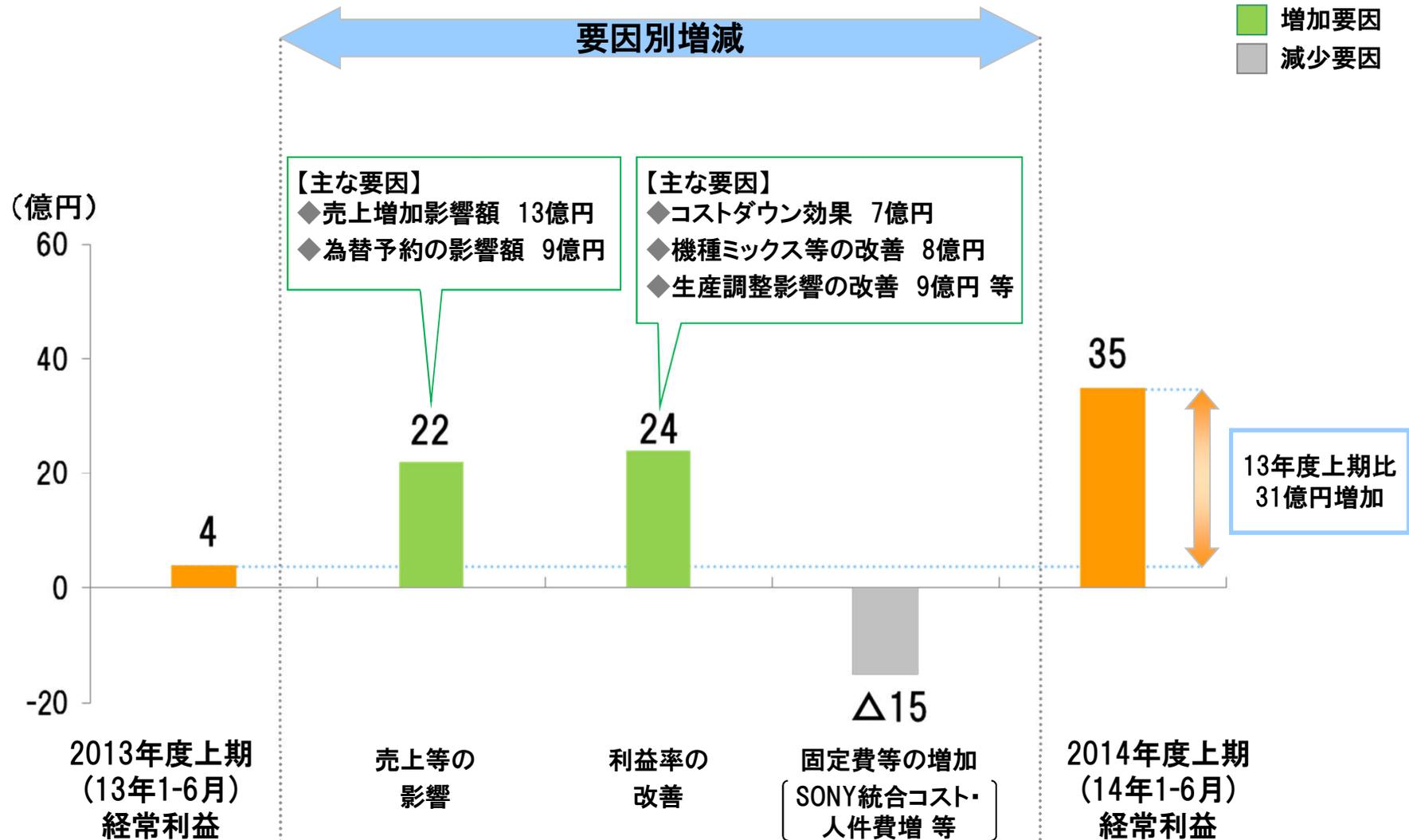
\* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート \* [ ]は売上高利益率

※13年度1Qの特別損失(15.4億円)の内訳:希望退職者の募集による特別退職金14.6億円、その他0.8億円

- 売上高、経常利益ともに2012年度3Qをボトムに、大幅改善
- 2013年度は構造改革により収益力が大幅向上。2014年度はコストアップ要因を吸収した上で、売上高経常利益率7%の水準を堅持



固定費等の増加が△15億円あったが、売上等の影響(22億円)と利益率の改善(24億円)により、前年同期比31億円の増益

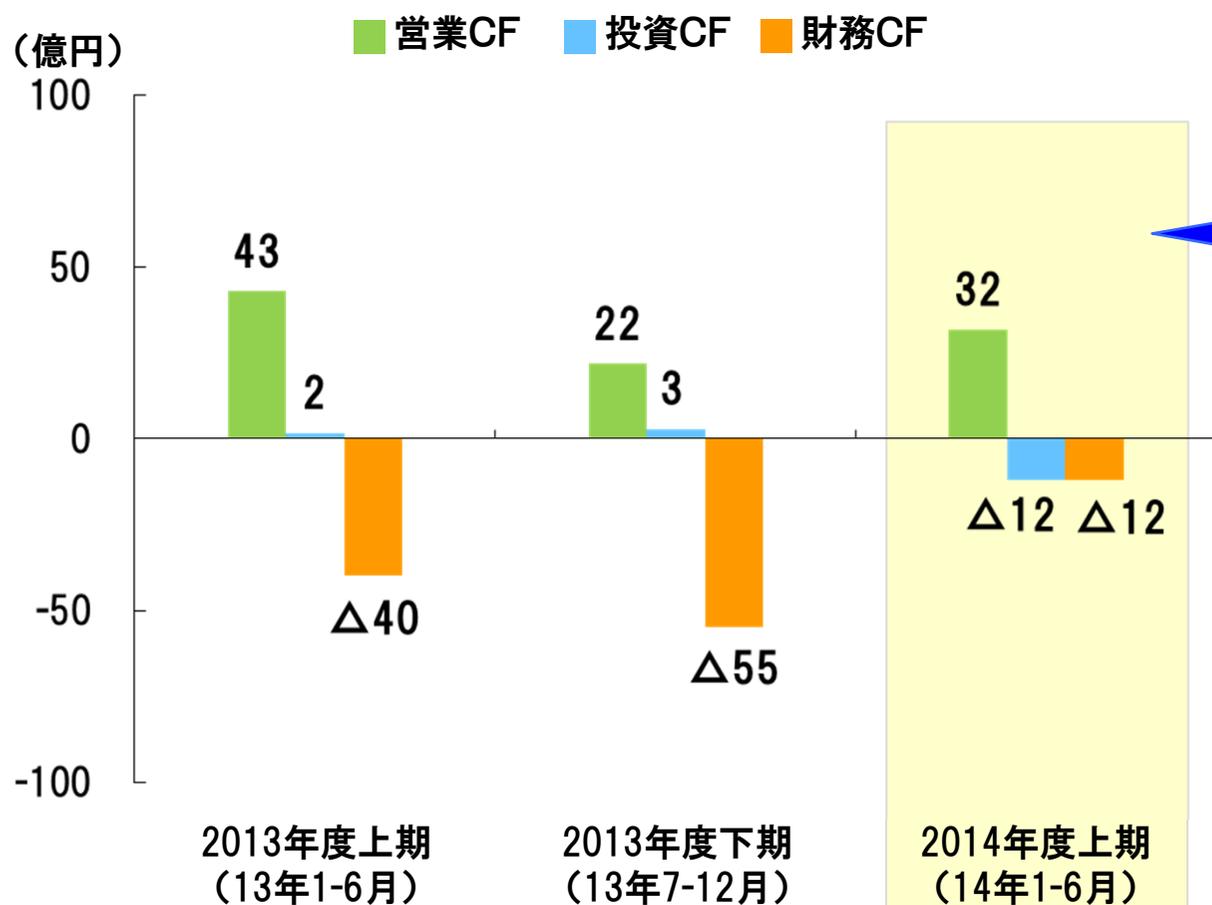


- 自己資本比率は11.5%に上昇。利益剰余金が3億円のプラスに転換
- 有利子負債は24億円減少 (百万円)

	13/12期末 (13年12月末) 〈A〉	14/12期 2Q末 (14年6月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉	
総資産	113,189	114,003	814	
純資産 [利益剰余金]	11,806 [△2,304]	14,159 [264]	※1 2,353 [2,568]	
純資産比率	10.4%	12.4%	2.0%	
自己資本比率	10.1%	11.5%	1.4%	
売上債権	24,879	24,221	△657	
在庫 [在庫回転期間]	44,328 [5.6ヵ月]	44,355 [5.2ヵ月]	26 [△0.4ヵ月]	
仕入債務	11,875	12,381	506	
有利子負債	75,508	73,094	△2,415	
現預金	6,254	6,997	742	
為替レート (期末)	ドル	105円	101円	△4円

※1【純資産の増加額24億円の  
主要内訳】

- ① 利益剰余金 +26億円
- ② 少数株主持分 +6億円
- ③ 有価証券評価益等 +1億円
- ④ 為替換算調整勘定 △9億円

**営業CFは3半期連続でプラス**

**2014年度上期  
 キャッシュ・フロー(要約)**

(億円)

<b>営業CF</b>	<b>32</b>
税引前利益	35
減価償却費	15
在庫	△16
その他	△2

<b>投資CF</b>	<b>△12</b>
設備投資	△9
その他	△3

<b>財務CF</b>	<b>△12</b>
-------------	------------

縫製機器は、アジアの新興国地域での販売が堅調。また、ノンアパレル(自動車シート、スポーツシューズ等)の縫製事業向け売上が増加

産業装置は、省力化設備の売上増があったものの、SONYグループとの事業統合による新製品(マウンタ、印刷機、検査機)の販売への寄与が途上であり、売上は微増

(百万円)

	13/12期 (13年度)						14/12期 (14年度)			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			下期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期<B>	
	13年1-3月	13年4-6月	13年1-6月	13年7-9月	13年10-12月	13年7-12月	14年1-3月	14年4-6月	14年1-6月	
縫製機器	16,492	17,177	33,669	16,423	18,744	35,167	18,657	18,494	37,151	3,482 (10.3%)
産業装置	4,414	5,383	9,797	4,527	4,502	9,029	4,792	5,269	10,061	264 (2.7%)
その他	1,717	1,738	3,455	1,652	1,616	3,268	1,751	1,770	3,521	66 (1.9%)
合計	22,624	24,298	46,922	22,602	24,861	47,463	25,201	25,533	50,734	3,812 (8.1%)

縫製機器は、コストダウン効果及び採算性の良いノンアパレルなどの売上が増加し、収益性が大幅改善

産業装置は、SONYグループとの事業統合による新製品の本格的販売に向けて、機能向上や周辺機器の開発経費を先行投下

(百万円)

	13/12期 (13年度)						14/12期 (14年度)			前年同期比 増減額 〈B-A〉 〔利益率の 増減〕
	上期			下期			上期			
	1Q	2Q	上期〈A〉	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期〈B〉	
	13年1-3月	13年4-6月	13年1-6月	13年7-9月	13年10-12月	13年7-12月	14年1-3月	14年4-6月	14年1-6月	
縫製機器	△104 〔△0.6%〕	566 〔3.3%〕	462 〔1.4%〕	1,649 〔10.0%〕	1,729 〔9.2%〕	3,378 〔9.6%〕	1,735 〔9.3%〕	1,964 〔10.6%〕	3,699 〔10.0%〕	3,237 〔8.6%〕
産業装置	△144 〔△3.3%〕	314 〔5.8%〕	170 〔1.7%〕	123 〔2.7%〕	126 〔2.8%〕	249 〔2.8%〕	68 〔1.4%〕	△230 〔△4.4%〕	△162 〔△1.6%〕	△332 〔△3.3%〕
その他	90 〔5.2%〕	103 〔5.9%〕	193 〔5.6%〕	74 〔4.5%〕	2 〔0.1%〕	76 〔2.3%〕	49 〔2.8%〕	119 〔6.7%〕	168 〔4.8%〕	△25 〔△0.8%〕
調整額	△373	△82	△455	△129	△67	△196	△119	△76	△195	260
合計	△531 〔△2.3%〕	902 〔3.7%〕	370 〔0.8%〕	1,718 〔7.6%〕	1,789 〔7.2%〕	3,508 〔7.4%〕	1,734 〔6.9%〕	1,775 〔7.0%〕	3,509 〔6.9%〕	3,139 〔6.1%〕

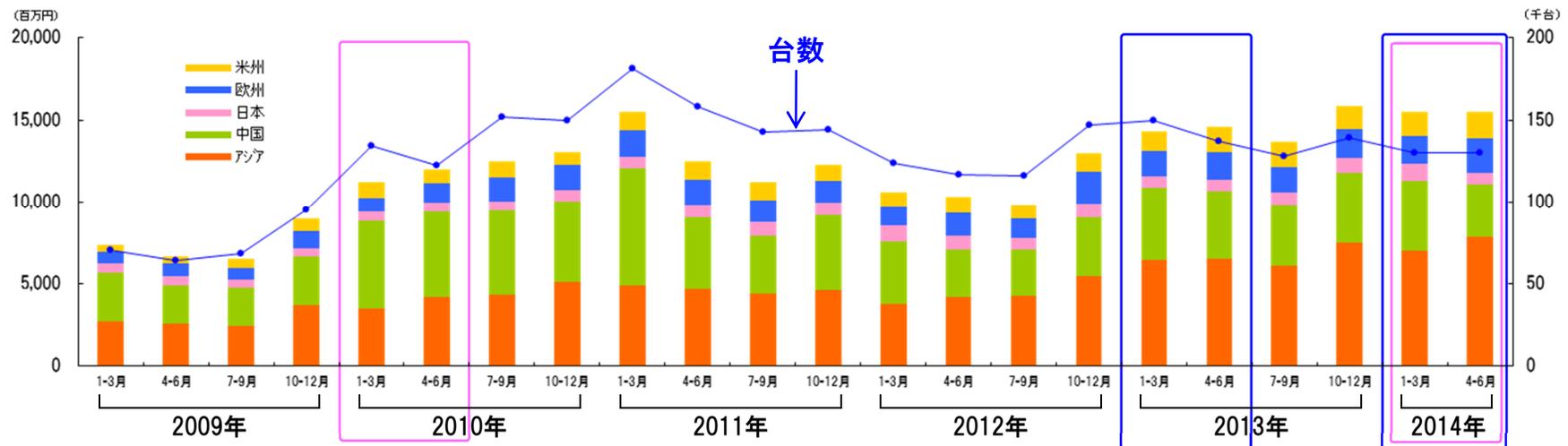
〔 〕は売上高経常利益率

(参考①)

セグメント別業績 地域別売上高(縫製機器)

アパレル縫製産業において、生産地が中国からアジアの新興国地域へとシフトが引き続き拡大しており、この地域での販売が堅調に推移

【縫製機器:工業用マシン製品の地域別売上高推移】



【売上高:前年同期比較】

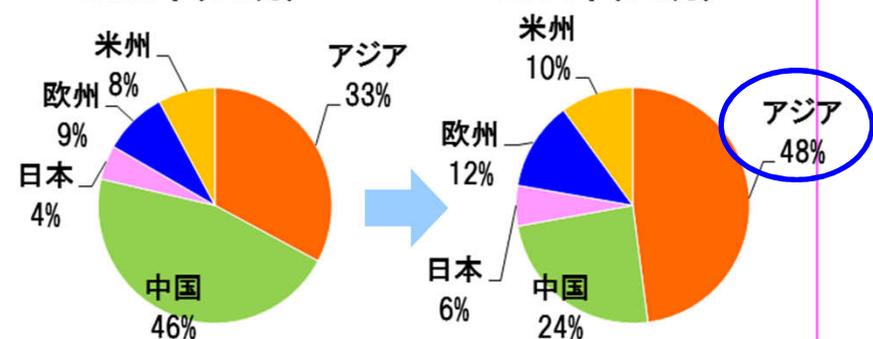
(億円)

	2013年 (1-6月)	2014年 (1-6月)	増減額	増減率
アジア	130	149	19	14.6%
中国	85	75	△10	△11.8%
日本	14	17	3	21.4%
欧州	33	38	5	15.2%
米州	27	31	4	14.8%
合計	289	310	21	7.3%

【売上高構成比率:2010年1-6月との比較】

2010年(1-6月)

2014年(1-6月)



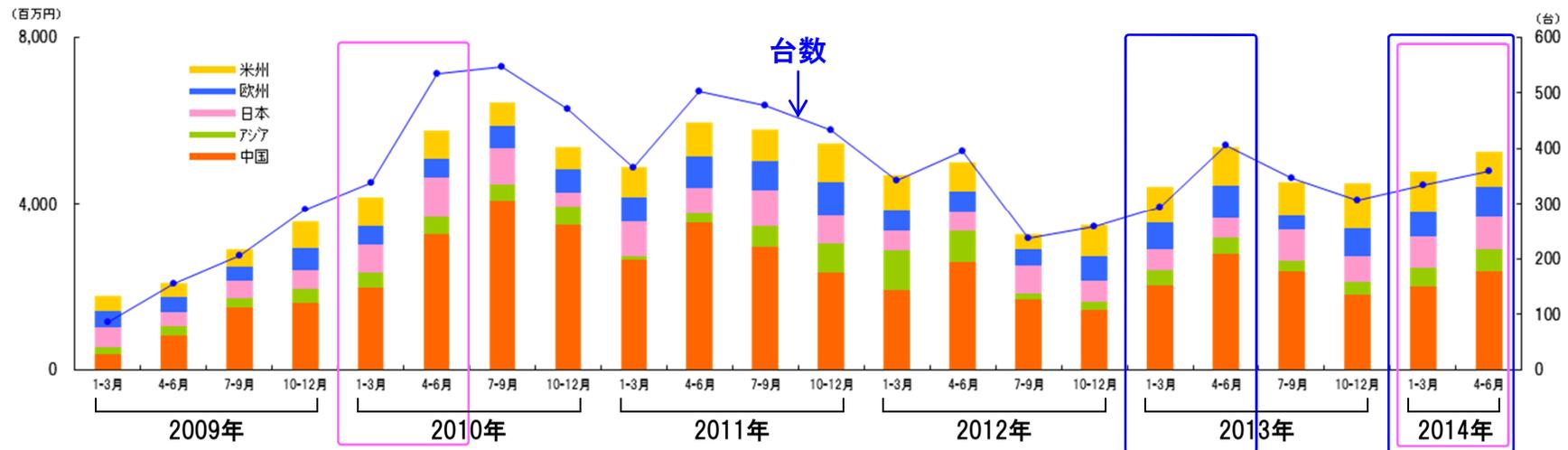
(注)月次の工業用マシン製品の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

(参考②)

セグメント別業績 地域別売上高(産業装置)

最大市場である中国での売上は伸びなかったが、日本国内向けの売上が増加したことなどにより増収

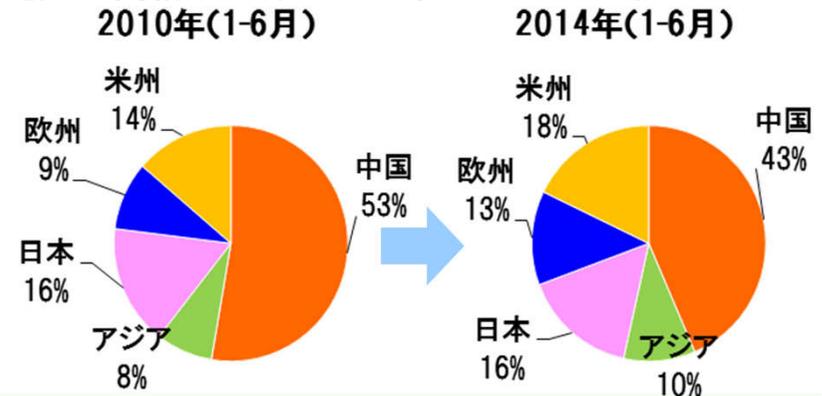
【産業装置：地域別売上高推移】



【売上高：前年同期比較】

	2013年 (1-6月)	2014年 (1-6月)	増減額	増減率
中国	48	44	△4	△8.3%
アジア	8	10	2	25.0%
日本	10	16	6	60.0%
欧州	14	13	△1	△7.1%
米州	18	18	0	0%
合計	98	101	3	2.7%

【売上高構成比率：2010年1-6月との比較】



(注)月次の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

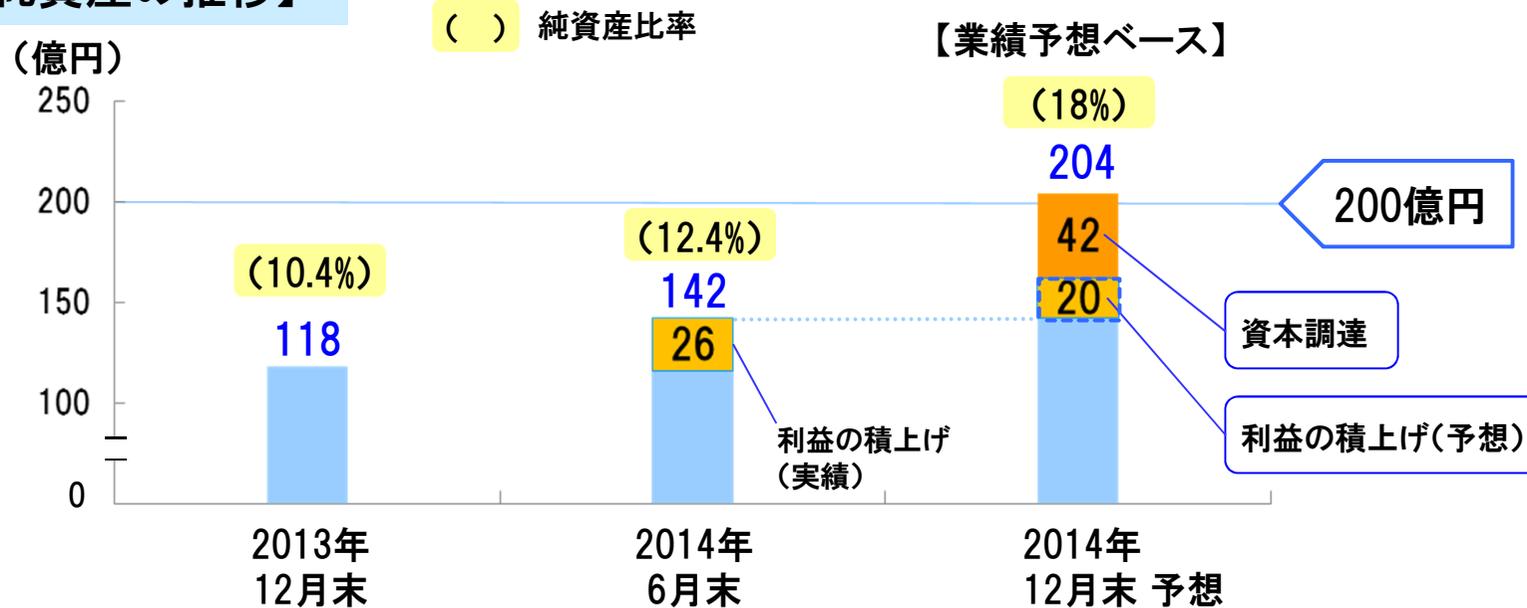
## 1. 自己資本の拡充

- 目的**
- ①「しっかりとした事業基盤」構築のための成長投資
  - ②リスク対応力の強化

- 方策**
- ①毎期の着実な利益の積上げ
  - ②資本調達の実施

【新株予約権発行による増資】  
6月17日 発行決議  
8月4日 増資終了  
調達額は42億円

### 【純資産の推移】



## 2. 「しっかりとした事業基盤」構築のための成長投資

**成長投資 ⇒ 35億円****縫製機器事業**

- |                                |      |
|--------------------------------|------|
| ①大田原工場やベトナム工場等の設備更新と新規投資       | 16億円 |
| ②成長領域での製品開発投資(ノンアパレル、ニット、自動機等) | 7億円  |
| ③新興市場における営業販売網の拡大              | 2億円  |

**産業装置事業**

- |                               |     |
|-------------------------------|-----|
| ラインソリューション事業及び自動化・省力化設備等の開発投資 | 5億円 |
|-------------------------------|-----|

**グループ事業**

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| 受託加工事業を拡大するための生産設備投資 | 5億円 |
|----------------------|-----|

## 第2部

# 2014年12月期(2014年度)の 通期業績予想と下期の重点施策

2-1-1

## 2014年12月期(2014年度)通期業績予想



	(億円)			[参考]	(億円)
	2014年度通期 業績予想 [今回]	2014年度通期 業績予想 [前回]	増加額	2014年度上期 (1-6月)実績	
売上高	1,040	1,020	20	507	
営業利益	69	63	6	37	
経常利益	63	50	13	35	
当期純利益	46	37	9	26	
[期末配当予想] 配当	3円/株	2円/株	1円/株	[中間配当] 0円/株	
為替レート(ドル)	*下期の為替レートは1ドル = 97円			103円	

## 環境認識

- 米国は緩和縮小を一段と具体化  
⇒ 新興国経済への影響を注視
- 世界経済は緩やかな成長局面
- しかし、グローバルの競争環境は厳しさを増している

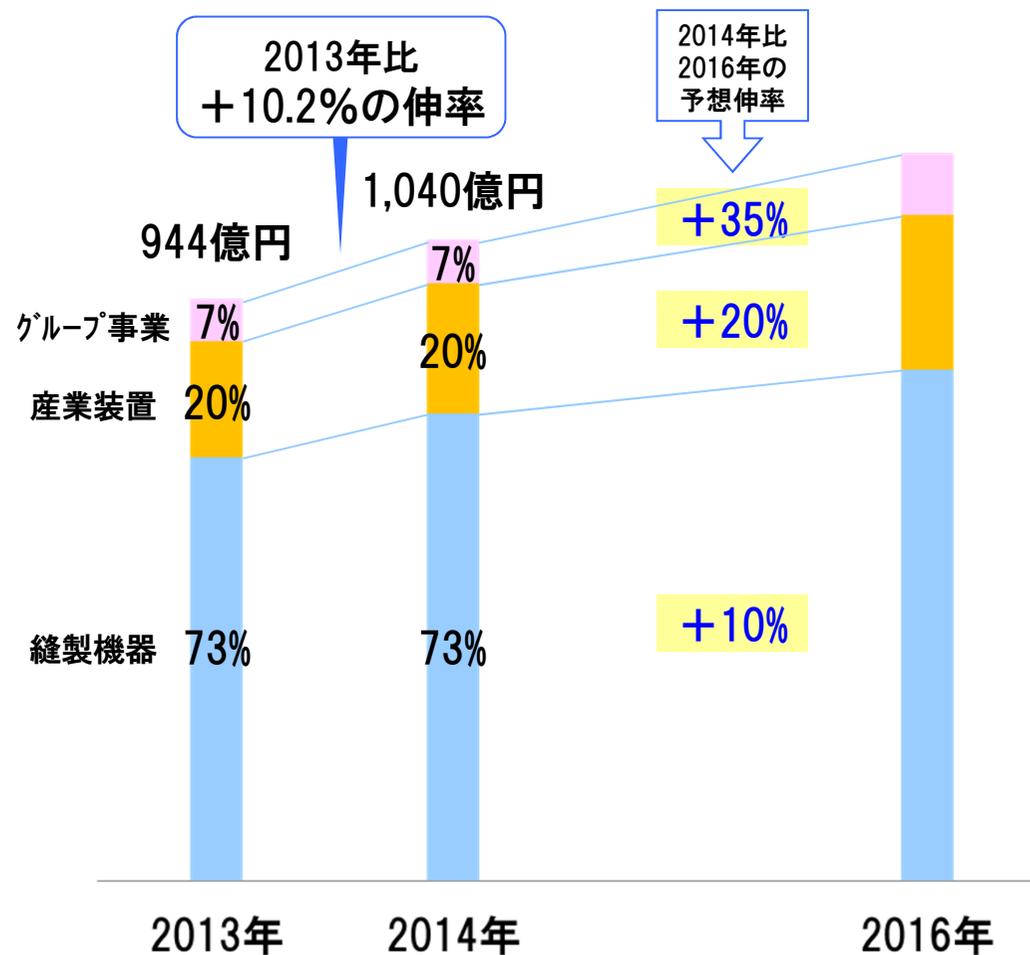
- ◆ お客様の設備投資動向は順調
- ◆ 人件費高騰による自動化ニーズの高まり  
⇒ 多くのお客様を開拓し、業績を伸展できる好機が継続

「持続的に収益を上げられる事業構造をつくり、しっかりとした事業基盤を構築する」ことを加速

## しっかりとした事業基盤の構築

### 持続的に収益を上げられる事業構造の確立

【事業別売上構成イメージ】



#### グループ事業

受託加工事業の拡大

#### 産業装置事業

重点成長市場分野

情報通信機器(スマホ等)

家電・照明等

車載 等

#### 縫製機器事業

事業領域の拡大分野

ノンアパレル  
(自動車、シューズ等)

ニット

自動機

家庭用ミシン

## 縫製機器事業 [工業用マシン]

### 【地域戦略】

- ・東南アジア、南アジア等の新興国への産地移動を引き続き的確に捉え、ビジネスチャンスを拡大
- ・更に、中近東、アフリカ、中南米など“新たな新興国”での販売拡大にも注力

### 【業種別戦略】

- ・JUKIの得意分野である布帛は堅持
- ・市場成長が期待できるノンアパレル、ニット、自動機等で事業領域を拡大

#### ノンアパレル

新製品による、自動車、スポーツシューズ、家具市場等の攻略

#### ニット

新製品の販売拡大とシルバ社とのアライアンス活用

#### 自動機

特注対応及び布帛の強みを活かした、ラインソリューション営業の強化

#### パーツ

グローバルネットワークによるパーツ販売の拡大



DU-1281シリーズ  
(新製品)



MF-7500(D)シリーズ  
(新製品)

## 縫製機器事業 [家庭用ミシン]

## 【地域戦略】

- ・海外の市場特性に対応した販売戦略の展開  
米国はキルトミシン、欧州は小型ロックミシン等を中心に販売拡大

## 【商品戦略及びアライアンス戦略】

- ・新製品(MO-1000、TL-2200QVP、HZL-350Z)による販売拡大



小型ロックミシン  
MO-1000



キルトミシン  
TL-2200QVP



電動ミシン  
HZL-350Z

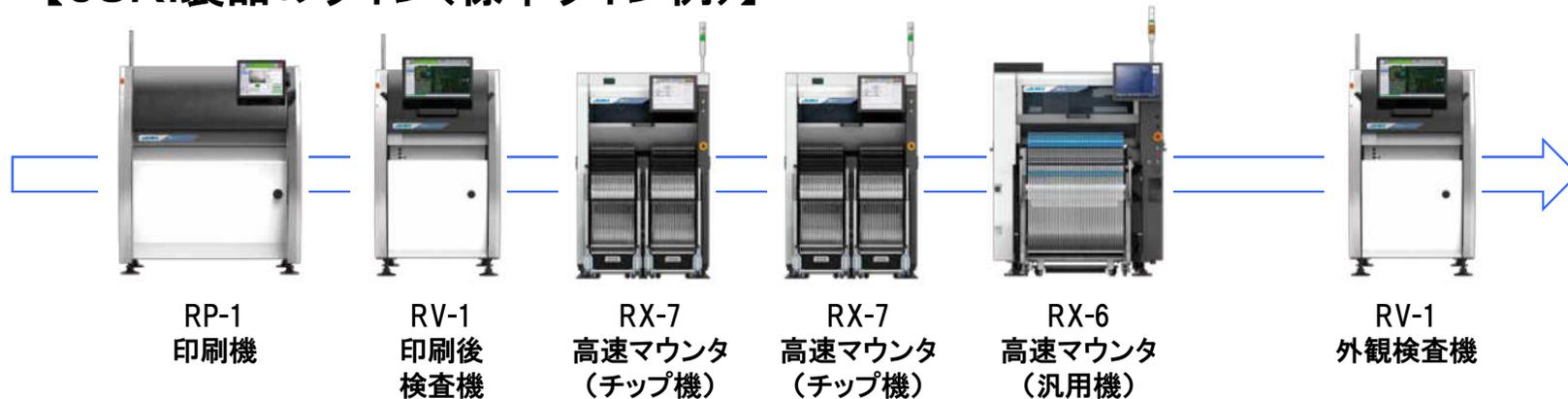
## 産業装置事業

事業統合による新製品の機能向上や周辺機器の開発を進め、本格的販売を開始

マウンタに印刷機・検査機等を加えたラインソリューション営業を積極的に展開

・アライアンスを積極的に展開し、未攻略市場の顧客開拓を加速

【JUKI製品のライン(標準ライン例)】



## 省力化設備の販売拡大

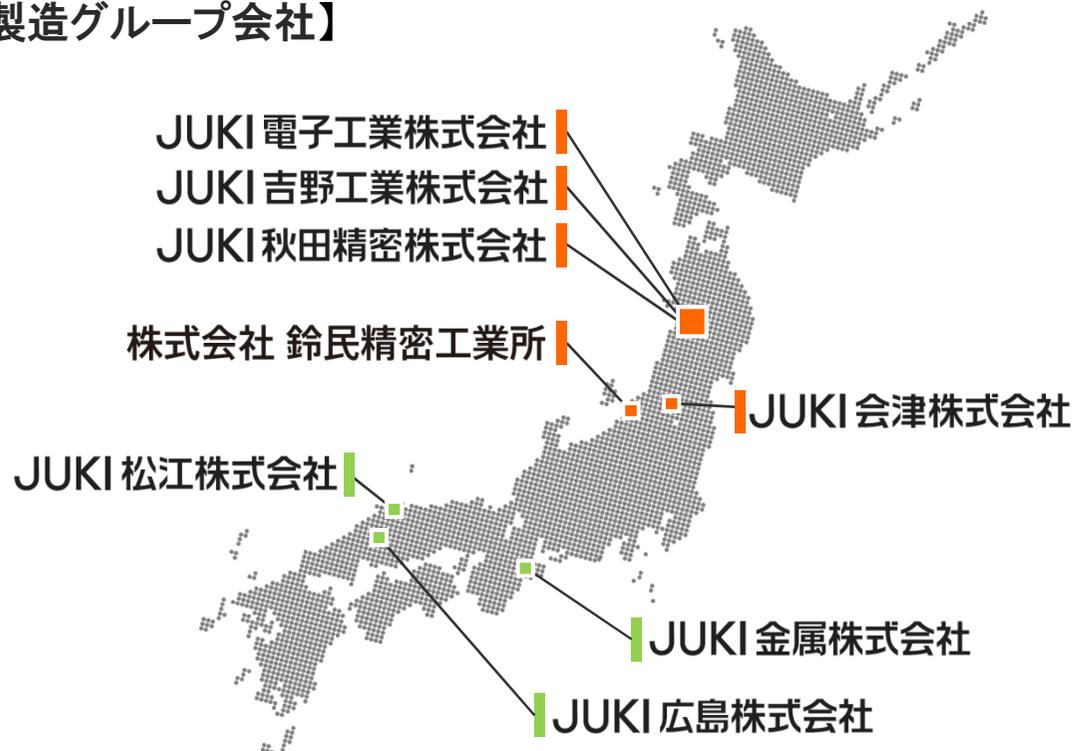
省力化設備は、ソリューション提案の切り口として、更なる販売拡大を目指す

## グループ事業

第三の事業セグメントとして、受託加工事業を拡大 ⇒ 新規事業として育成

- ・JUKI電子工業が主導し、各グループ会社の持つ精密加工や精密鑄造技術を活かし、グループの連携を強化することで、事業を拡大する

## 【国内製造グループ会社】



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

## JUKI株式会社

お問合せ先： 総務部 総務・広報グループ 担当：寒川<sup>そう がわ</sup>

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>